

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2008-262484(P2008-262484A)

【公開日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2008-043

【出願番号】特願2007-106135(P2007-106135)

【国際特許分類】

G 06 F 12/00 (2006.01)

G 06 F 17/30 (2006.01)

H 04 N 1/21 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/00 5 1 5 B

G 06 F 17/30 3 4 0 B

H 04 N 1/21

G 06 F 12/00 5 2 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月1日(2010.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ファイルのグループに関するファイルグループ情報と、前記ファイルのグループに関する操作内容と、を含む操作履歴情報を作成して記憶手段に記憶する操作履歴情報記憶手段と、

ファイルが選択された場合、前記記憶手段に記憶されている操作履歴情報の中に、前記ファイルが含まれるグループに関するファイルグループ情報を含む操作履歴情報があるか否かを判定する存在判定手段と、

前記存在判定手段において、前記ファイルが含まれるグループに関するファイルグループ情報を含む操作履歴情報があると判定された場合、前記操作履歴情報に含まれるファイルグループ情報と、前記操作内容と、を含むG U I部品を表示する表示手段と、を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記表示手段は、前記操作内容の実行に関するボタンを更に含む前記G U I部品を表示し、

前記ボタンの選択操作に応じて、前記ファイルグループ情報に関するファイルのグループに対して、前記操作内容の再実行に係る処理を実行する再実行手段を更に有することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記表示手段は、前記ファイルを再選択するためのボタンを更に含む前記G U I部品を表示することを特徴とする請求項1又は2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記表示手段は、前記操作内容を再設定するためのボタンを更に含む前記G U I部品を表示することを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

ユーザ認識手段を更に有し、

前記操作履歴情報記憶手段は、前記ユーザ認識手段によって認識されたユーザ情報を更に記憶し、

前記表示手段は、前記ユーザ情報に応じて操作履歴情報を表示することを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記ユーザ情報は、他ユーザへの操作履歴情報の開示に係る提示権限情報を更に含み、

前記表示手段は、前記提示権限情報に応じて表示することを特徴とする請求項5に記載の情報処理装置。

【請求項7】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、

ファイルのグループに関するファイルグループ情報と、前記ファイルのグループに関する操作内容と、を含む操作履歴情報を作成して記憶手段に記憶する操作履歴情報記憶ステップと、

ファイルが選択された場合、前記記憶手段に記憶されている操作履歴情報の中に、前記ファイルが含まれるグループに関するファイルグループ情報を含む操作履歴情報があるか否かを判定する存在判定ステップと、

前記存在判定ステップにおいて、前記ファイルが含まれるグループに関するファイルグループ情報を含む操作履歴情報があると判定された場合、前記操作履歴情報に含まれるファイルグループ情報と、前記操作内容と、を含むG U I部品を表示する表示ステップと、を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項8】

コンピュータに、

ファイルのグループに関するファイルグループ情報と、前記ファイルのグループに関する操作内容と、を含む操作履歴情報を作成して記憶手段に記憶する操作履歴情報記憶ステップと、

ファイルが選択された場合、前記記憶手段に記憶されている操作履歴情報の中に、前記ファイルが含まれるグループに関するファイルグループ情報を含む操作履歴情報があるか否かを判定する存在判定ステップと、

前記存在判定ステップにおいて、前記ファイルが含まれるグループに関するファイルグループ情報を含む操作履歴情報があると判定された場合、前記操作履歴情報に含まれるファイルグループ情報と、前記操作内容と、を含むG U I部品を表示する表示ステップと、を実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

そこで、本発明は、ファイルのグループに関するファイルグループ情報と、前記ファイルのグループに関する操作内容と、を含む操作履歴情報を作成して記憶手段に記憶する操作履歴情報記憶手段と、ファイルが選択された場合、前記記憶手段に記憶されている操作履歴情報の中に、前記ファイルが含まれるグループに関するファイルグループ情報を含む操作履歴情報があるか否かを判定する存在判定手段と、前記存在判定手段において、前記ファイルが含まれるグループに関するファイルグループ情報を含む操作履歴情報があると判定された場合、前記操作履歴情報に含まれるファイルグループ情報と、前記操作内容と、を含むG U I部品を表示する表示手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】